

## 平成22年度に建設工事で発生した事故事例（転倒による事故）

### 事故概要:

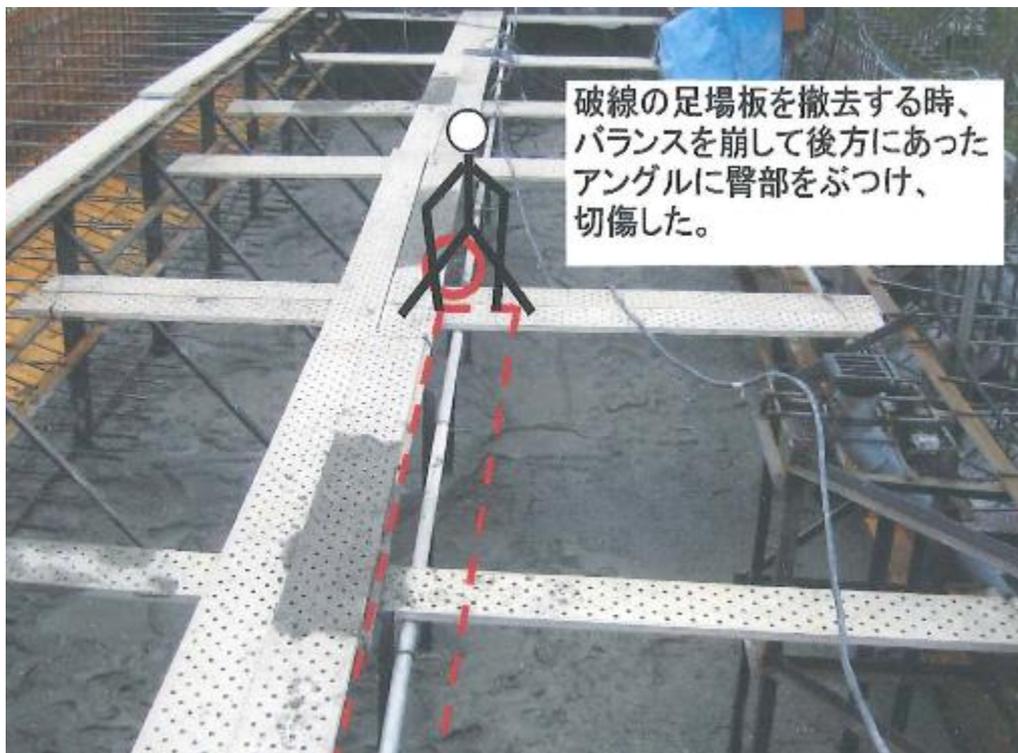
作業員が足場上で足場板を固定する緊結線を外し、足場板を持ち上げて撤去していたところ、バランスを崩し後方へ転倒し、足場支柱に臀部を打ち付け負傷した。

### 事故原因:

地上高75cm程度の足場上での作業に危険性を感じず安易に作業を行った

### 改善対策:

安定した作業面が確保できる場合は高所での作業を避けるよう指導、教育の徹底



分類: 足場工、撤去

被害状況: (左臀部切創)

# 平成25年度に建設工事で発生した事件事例（墜落・転落事故）

## 事故概要:

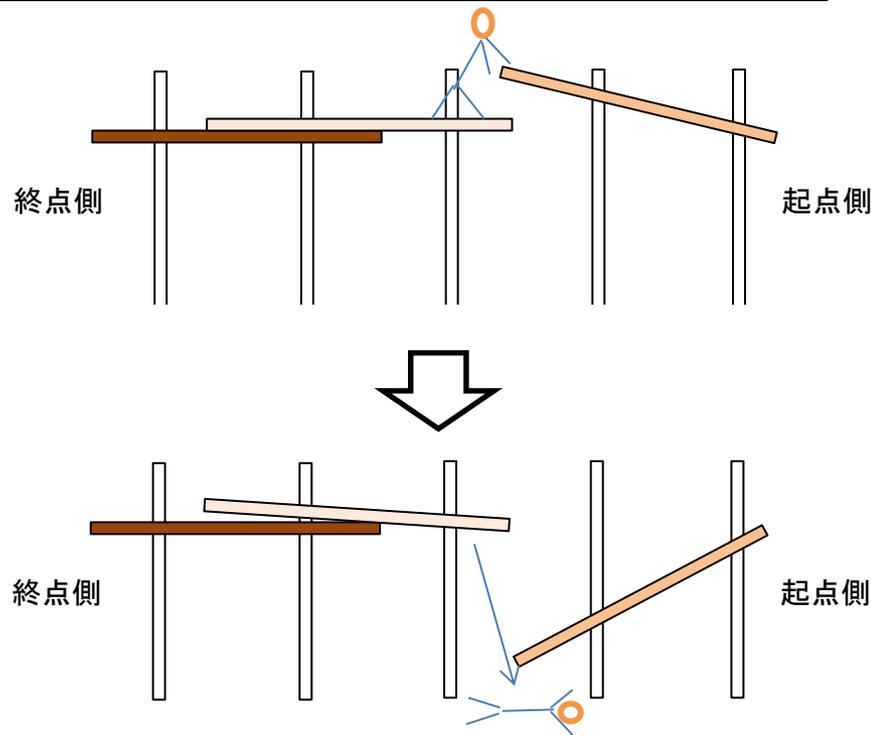
既設ブロック積の上の落石防護柵設置が完了したため、ブロック積から単管足場を撤去作業をしていた。足場板を1枚ずつ撤去していた際、梁から80cm張り出した足場板に足をかけ体重を乗せたところ、板が浮き、バランスを崩して作業員が約4mの高さから転落した。

## 事故原因:

- ・足場板の不安定な部分に不用意に乗ってしまった。
- ・安全帯を適正に使用していなかった。

## 改善対策:

- ・足場組立、解体作業計画・手順書を作成し周知する。
- ・安全帯の使用状況を監視する。
- ・安全教育の徹底



分類: 足場工、撤去

被害状況: 約8週間の加療(前額部挫創、右橈骨遠位端骨折、左肘頭粉碎骨折)

## 平成26年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

### 事故概要：

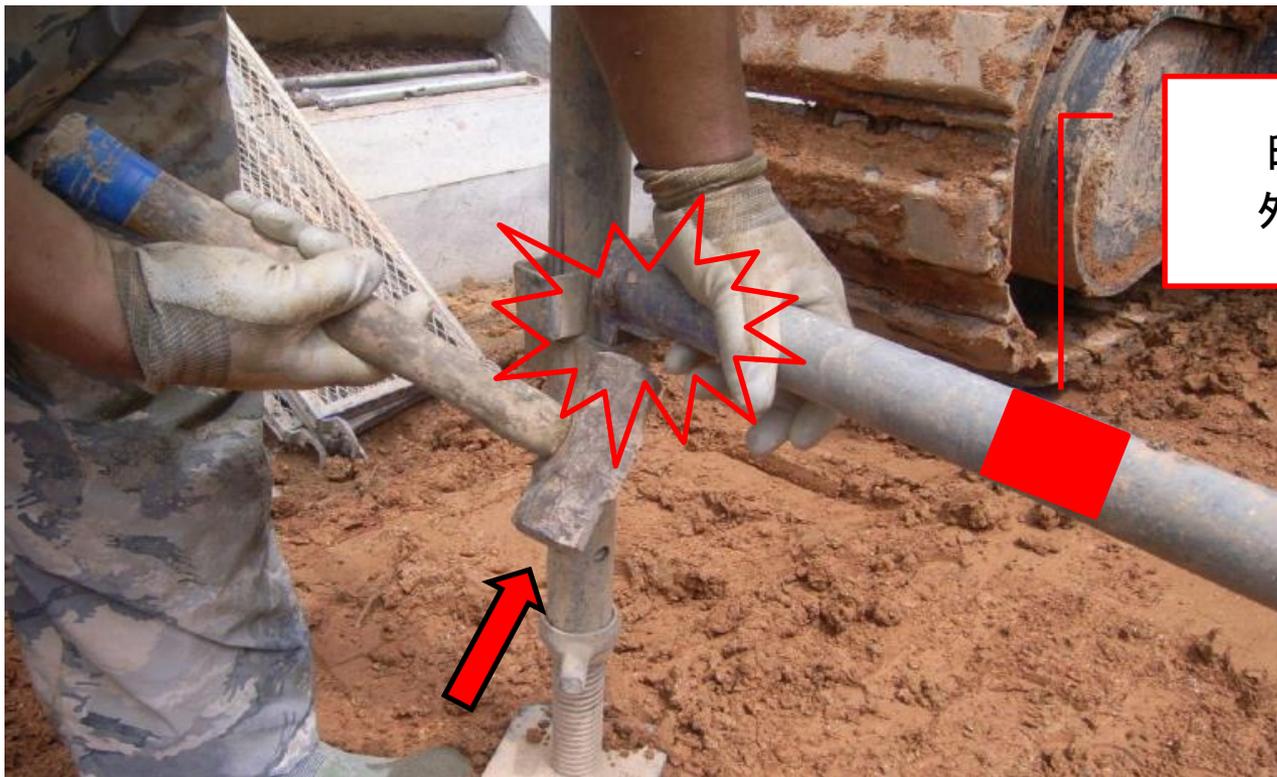
くさび型足場を解体作業中、縦単管から横単管を取り外そうと、ハンマーにて下側から横単管を叩こうとしたところ、誤って左手小指を叩き負傷した。

### 事故原因：

・本人の不注意

### 改善対策：

・印を付けて、印よりも外側を持つよう注意喚起する



印を付けて、印よりも外側を持つようにする

分類：足場工、撤去

被害状況：1か月間の安静加療（左小指末節骨開放骨折他）

## 平成27年度に建設工事で発生した事件事例（墜落・転落による事故）

### 事故概要:

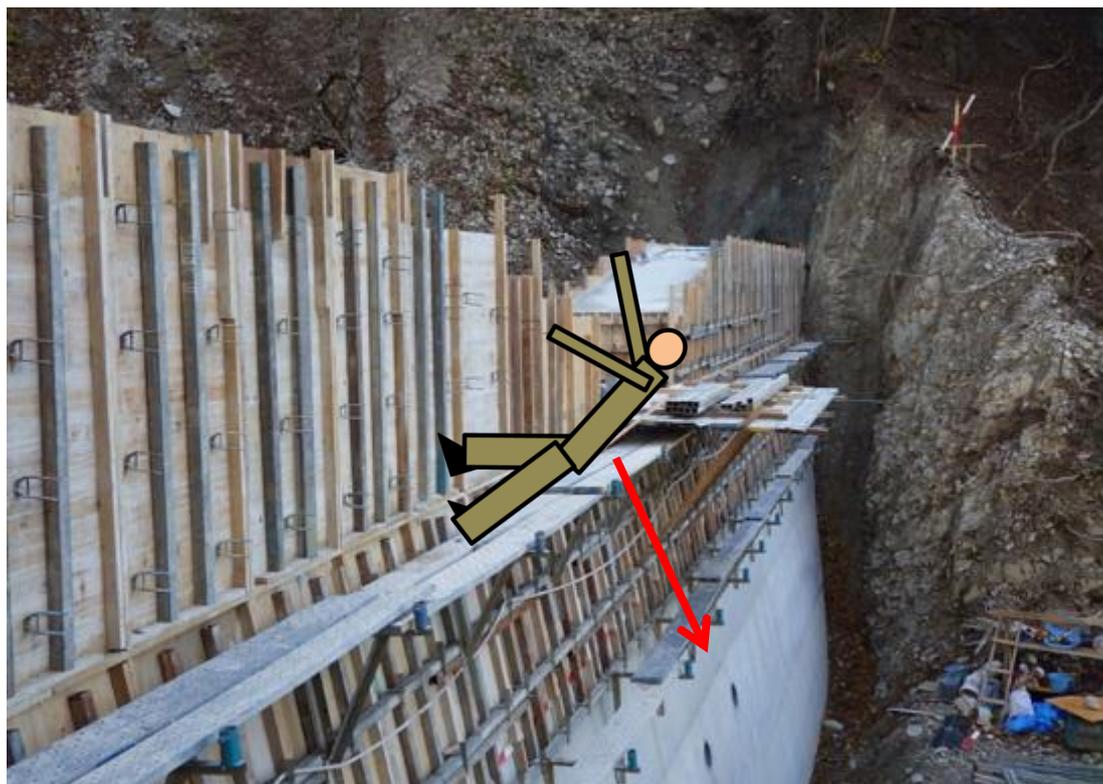
型枠・足場撤去作業中に高さ7mの足場から作業員が転落し負傷した

### 事故原因:

- ・転落防止措置を講じていなかった(親綱、安全带)
- ・作業手順を徹底していなかった

### 改善対策:

- ・転落防止措置の徹底
- ・作業手順の徹底



分類: 足場工、撤去

被害状況: 3か月の加療(中心性脊髄損傷他)

## 平成28年度に建設工事で発生した事件事例（ 墜落・転落による事故 ）

### 【事故概要】

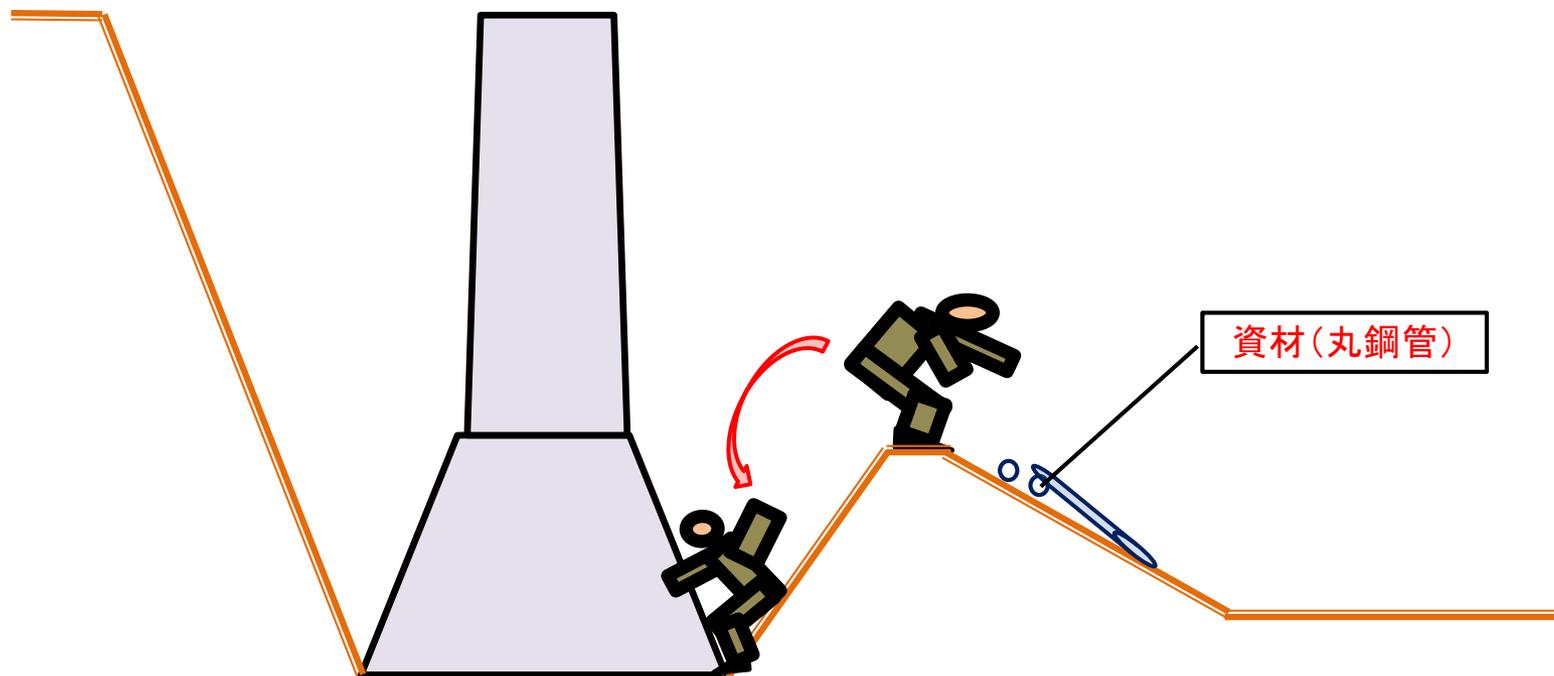
資材等片付けのため、斜面天端から土羽法面途中に置いてあった資材を拾おうとして足元が滑り、埋戻し前の床付け面まで転落し、左側頭部を打ち負傷した。

### 【事故原因】

- ・資材搬出工程における安全性の欠如
- ・立入防止措置の不備

### 【改善対策】

- ・資材等は、斜面上に置かない
- ・転落の可能性がある箇所に立入防止柵を設置
- ・立入禁止箇所の明確化



【分類】足場工、撤去

【被害状況】外傷性くも膜下出血、 全治2ヶ月間の見込み